

授業科目名	知と表現のデザイン1	担当教員	塩川 太郎 石井 路子 姚 瑤 小島 寛大 鎌田 麻衣子 岡本 ひかる
必修の区分	必修		
単位数	1単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1年 第1クォーター		
講義内容	大学生生活の導入として、高校までの学習と大学での学びの違いを意識し主体的に協働して学ぶ技術と態度を身につける。少人数のクラスに分かれ、グループ活動も交えながら大学の授業でのレポートの書き方等を学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学での学習方法を修得する。 ・ データや文献の検索・収集・読解を行い、授業レポートが書けるようになる。 ・ 卒業後のキャリアを見据えながら、大学で学びを自己の成長へとつなぐ姿勢を身につける。 		
授業計画	<p>(1回目) 大学での学びについて① 高校までの学習との大学での学びの違いについて知る</p> <p>(2回目) 大学での学びについて② ノートの作り方、学習環境の整え方を学ぶ</p> <p>(3回目) 大学での学びについて③ グループワークによる学びを体験する</p> <p>(4回目) データや資料の検索・活用 学術情報館を活用した学びを知る</p> <p>(5回目) アカデミックリーディング① テーマに沿った文献検索から、基礎的な文献の読み込む</p> <p>(6回目) アカデミックリーディング② 文献の読み込みから大意をつかみ要約する</p> <p>(7回目) アカデミックライティング① レポートの書き方を学ぶ</p> <p>(8回目) アカデミックライティング② 課題レポートに取り組む</p> <p>(9回目) プレゼンテーション① 課題レポートの内容から口頭発表へ展開するため、スライド作成の方法を学ぶ</p> <p>(10回目) プレゼンテーション② 課題レポートに関するプレゼンテーションを行う</p> <p>(11回目) キャリア形成について 大学での学びの先にあるキャリアを展望する</p> <p>(12回目) 大学での今後の学びについて</p>		

	<p>第1クォーターの学びのまとめと、今後の学修計画を検討する</p> <p>※上記の計画は1例であり、合同授業の日程やクラス担任により一部内容を変更する場合がある。 第1クォーターの学びのまとめと、今後の学修計画を検討する</p>
事前・事後 学習	<p>クラス担任の指示により、事前に提示された資料等の学修、事後の課題に取り組む。</p>
テキスト	<p>クラス担任が適宜指示する。</p>
参考文献	<p>クラス担任が適宜指示する。</p>
成績評価 の基準	<p>授業への参加姿勢 40%</p> <p>レポート 60%</p> <p>※各クラス担任によって評価方法が異なることがある。</p>
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	<p>該当しない。</p>
備考欄	<p>2025年カリキュラム：2025年度以降の入学生のみ履修可 (2021年～2024年度入学生：履修不可)</p>